

会社名 小泉製麻株式会社 担当部署 東京支店
連絡先 090-1070-8956

技術(機械)名:ビーコンを使った「コト消費」の促進

概要

【ビーコンが繋ぐ生産者と消費者の絆】

- ・生産者→ビーコンのデータログ機能やアプリに栽培日誌を入力しデータベース化する事で、施肥や農薬散布時期の適切化を実現し、安心安全な作物を供給。
- ・消費者→アプリをインストールする事で、ビーコンを設置した生産地に、実際に赴く事で貯まるポイントシステムや、地域限定クーポンの配信など、生産地を目的地化させる動機を提供。

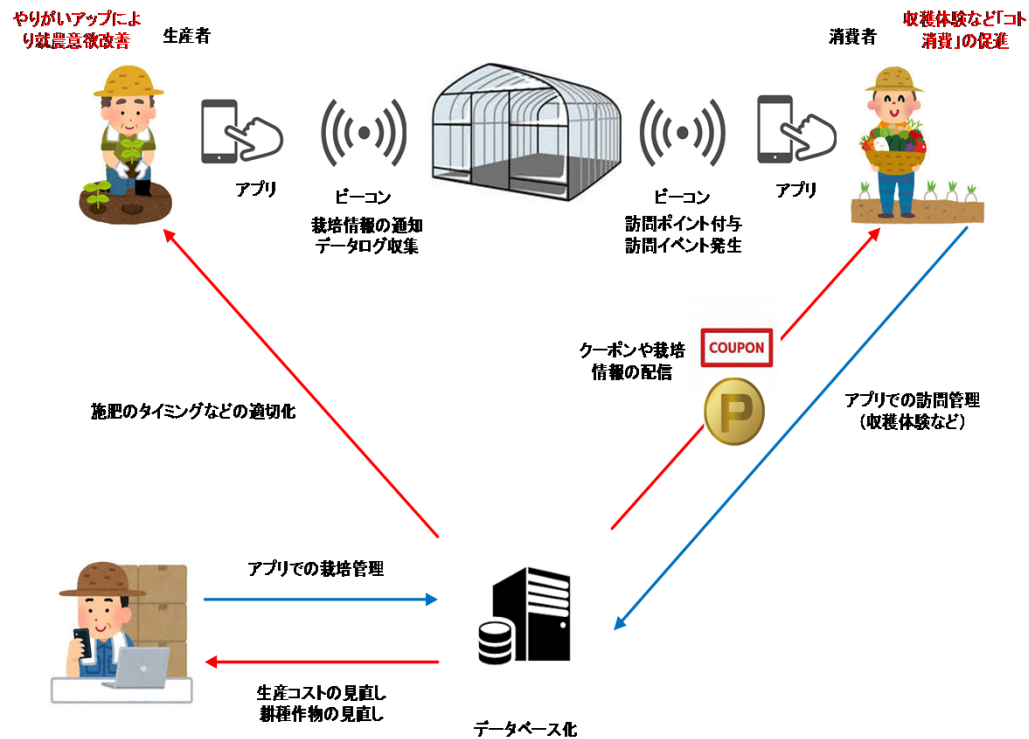
効果

データベース化する事で、システムを導入する生産者にとってはデータ活用が可能となり、消費者ニーズ、栽培トレンドなどから適切な耕種作物の選択が可能となる。その結果生産コストの低減に繋がる事が予想される。

またアプリは生産者と消費者を近づける。消費者はアプリを介し、作物の生育状況がリアルタイムで確認でき、旬を迎える作物の収穫体験ができるなどの「コト消費」に繋がり、生産者の経営改善にも繋がる。

写真、図表等

ビーコンを使った「コト消費」イメージ



- ・生産者→ビーコン情報による各種ログデータの蓄積を通じて、適切なガイドを行うことで、生産コストを低減する。
- ・消費者→その地域に行くことのみならず、実際に得る生産作物の入手履歴等により、ゲーム性も具備する。